

荻外荘の史跡指定記念特別展が始まります

明日4月29日から5月29日までの1ヵ月間、区立郷土博物館では、特別展『「荻外荘」と近衛文麿』が行われます。この特別展は、今年3月、杉並区が所有する「荻外荘」（近衛文麿旧宅）が、史跡名勝天然記念物の指定を受けたことを記念し開催するものです。本日は、関係者や報道機関を招いて、内覧会が開催され、近衛家に伝わる貴重な資料を一足早く公開しました。

荻外荘（荻窪2-43）は、内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の旧邸宅であり、戦前の政治史において重要な会議（荻窪会談）が開かれたことでも知られています。敷地面積は、6,071.69㎡、貴重な屋敷林を今に伝えていています。杉並区は、みどり豊かで政治史的にも貴重な地であり、また地域住民からの強い要望（平成24年6月）もあったことから、荻外荘の敷地及び建物を平成26年2月に取得しました。

また、近衛家に伝わる10万点以上の資料を所有・管理する公益財団法人陽明文庫（理事長：近衛忠輝・京都市右京区宇多野上ノ谷町1-2）と覚書を交わし、荻外荘を文化財としての価値と昭和の記憶的な価値との両面から、整備・活用していくため、互いに協力しています。

今回の特別展は、国の史跡指定と陽明文庫の協定に基づく協力を受けて行うもので、より多くの方に、昭和前期の日米開戦など国の方向性を決めた重要な会議に関連する資料や近衛文麿が家族で過ごした荻外荘に関連する大変貴重な資料を公開します。

28日15時、一般公開に先立ち、郷土博物館には陽明文庫の名和修文庫長や田中良区長などの関係者と報道機関を招いた内覧会が開催されました。展示品の中には、西園寺公望が筆を入れたと言われる「荻外荘」の扁額のほか、近衛文麿の遺書や自筆のメモなどを展示しています。



◆国史跡指定記念特別展『「荻外荘」と近衛文麿』

- ・開催日 平成28年4月29日～5月29日
ただし、月曜日と5月19日は休館
- ・場所 区立郷土博物館（大宮1-20-8）
電話 03-3317-0841
- ・入館料 100円（中学生以下は無料）

*また、郷土博物館分館（天沼3-23-1・5347-9801）でも、関連行事として近衛文麿や家族ゆかりの品の展示を行います。

【問い合わせ先】

教育委員会生涯学習課：電話 03-3311-2111 内線 1666